

【高等学校用】

令和4年度学校評価計画

学校名	佐賀県立有田工業高等学校
-----	--------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度も引き続きコロナ禍での学校運営を余儀なくされたが、校務の精選や行事の必要性などを再認識することができ、学校全体をスリム化することで本来の教育活動を見直すきっかけとなった。また、リモート形式での講話や行事、授業などを充実させることができた。 ・学校独自の重点取組である地域との連携については、課題研究等を中心に、地元小中学校への陶芸交流等を充実させることができた。また、有田町との様々な協働活動等を通して、本校の魅力発信や地域との関わり合いを深めることができた。 ・前年度は新たに「地域みらい留学プロジェクト」が本格的にスタートした。次世代を担う人材を全国から募集し、地域の協力を得ながら、町と学校が共に活気づく基盤づくりを展開してきた。この取組によって、地域の素晴らしさや歴史の深さを改めて認識することができた。 ・本校の特色の一つであるセラミック科のさらなる充実の足掛かりとして、地域や全国に向けての情報発信を工夫し、セラミック科の志願者増につなげていきたい。
------------------	--

2 学校教育目標	<p>勉脩 「愛し」「創り」「光れ」を礎とした自立型人間の育成</p> <p>「愛し」：自分を大切にし、他人を思いやる 「創り」：新しいことに積極的に挑戦していく</p> <p>「光れ」：一人ひとりが社会に貢献できる人間になる</p>
----------	---

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領実施に対応した教員の授業力向上と学習評価の工夫、生徒の主体的な学びの推進 ・「SAGAコラボレーション・スクール」重点校としての、有田町との連携協働による特色ある教育活動の充実と地域振興への貢献 ・県内唯一無二のセラミック科とデザイン科の魅力発信の強化、全国募集の推進及び志願者数の増加
------------	---

4 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目

重点取組			具体的取組
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	○新学習指導要領実施初年度における主体的な学びを重視した授業の推進	○新学習指導要領に対応した授業改善 ・年間2回(6月・10月)に授業研修週間(1週間)の設定と、授業研究の実施 ・新学習評価計画および観点別評価の周知徹底と改善検討 ・基礎力テストの年間全体平均を7.0点以上。不合格者数昨年度比-20%	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程委員会を年内に4~5回開き、効果的な指導方法や改善点の情報共有を図る。 ・基礎力テスト前の啓発を各クラスの関係職員全体で行う。 ・不合格者の追跡調査、効果的な指導を行う。
	◎高い志を持ち、自らの目標や進路実現に向けた資格・検定取得の奨励	◎高度資格取得と進路実現に向けた取組 ・ジュニアマイスター認定40名、校内表彰20名以上	<ul style="list-style-type: none"> ・顕彰制度、表彰制度を生徒・保護者・職員へ周知させる。 ・資格取得、コンクール参加を奨励、補習体制の充実を図る。
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○豊かな心をはぐくむ教育活動の実施 ・「生命を尊重する心や献血への協力の大切さがわかった」と回答した生徒90%以上 ・生徒1人当たり図書貸し出し冊数を前年度比10%増。 ・ボランティア活動参加者のルーブリック評価平均3以上	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師による、教育相談講話(6月)、性に関する講話(12月)、献血セミナー(12月)を実施する。 ・朝読書の実施、図書館だよりの発行、生徒の希望に沿った選書、図書館レイアウトの工夫などで来館生徒増をめざす。 ・年3回(各学期毎)の学校周辺清掃活動ボランティアを実施する。
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○生徒アンケートによる早期発見および職員研修を通じた共通理解 ・いじめ防止等について組織的対応ができていますと回答した教員90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの対応についての研修・会議を年間に1回以上行う。 ・いじめアンケートを年3回以上実施する。 ・スクールカウンセラーの活用を積極的に行う。
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える生徒95%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・生活状況調査を実施する。 ・心身の健康の保持増進に必要な情報を、保健だより(毎月発行)、食育だより(年間6回)で発信する。
	○部活動の活性化 ○体力の向上	○(学校独自成果指標・任意) ・部活動加入率80%以上 ・九州・全国大会への出場・入賞 ・校内マラソン男子30km3時間以内60名、女子10km1時間30分以内60名以上	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動紹介、HP部活動ニュースの充実を図る。 ・部活動予算・体育文化奨励費の適正な運用と練習環境の整備・改善を行う。 ・体育科との連携による体力を高める運動の実施とマラソン練習期間を確保する。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限遵守 ○有給休暇の取得を年間13日以上(前年度比10%増)	<ul style="list-style-type: none"> ・定時退勤日を設定(水曜日)し、掲示や口頭による啓発を行う。 ・部活動休養日を設定する。 ・有給休暇を取得しやすい職場環境づくりに努める。 ・会議資料の事前配布により会議時間を削減する。

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組			具体的取組
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
★SAGAコラボレーション・スクール重点校としての取組推進と学校魅力化の情報発信の工夫	★学校魅力強化委員会(学校運営協議会)の立ち上げによる地域・外部との連携強化	★学校運営協議会の活用 ○生徒自身が地域貢献を通して、意識がどのように変化したかをルーブリック評価を行う。平均3以上を目標とする。 ○各学科の課題研究を通じた地域との連携・外部人材の活用 ●陶芸交流授業や校外展において地域貢献の意識向上を図る。アンケートの回答平均3以上。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会委員や外部との連携と情報共有に努める。 ・本校PRのため、積極的に地域のイベントに参加する。 ・うちやま百貨店にてワークショップや展示 ・各科課題研究を通じて地域貢献 ・陶芸交流授業、校外展を実施し、生徒の積極的参加を図る。
	○学校の魅力発信の強化と広報活動の充実	○学校説明会や学校訪問、SAGAハイスクールウェビナー、HPやメディアを活用した情報発信の工夫による志願者増	<ul style="list-style-type: none"> ・SAGAハイスクールプロモーション事業やものスゴフェスタ等への参加、体験入学や中学校訪問により本校の魅力を発信する。
	★「地域みらい留学」を通じた全国募集の推進(セラミック科・デザイン科)	○県外(地域みらい留学校)からの志願者5名目標(セラミック科・デザイン科) ○県外からの体験入学参加者15名以上	<ul style="list-style-type: none"> ・各科のイベントや行事等をHPに掲載、メディアにも取材依頼を行い、県内外への情報発信を強化する。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり